

平成29年度第1回 運営推進会議開催状況報告書

提出日平成29年4月24日

事業所名	デイサービスセンター笑楽房
開催日時	平成29年4月16日 午前10時0分～午前11時0分
開催場所	デイサービスセンター笑楽房 フロアー(食堂兼機能訓練室)
参加者	利用者 0名 民生委員 2名 事業所職員 4名 利用者家族 1名 老人福祉委員 1名 町会長 0名 西院地域包括支援センター 1名
議題	運営状況、利用料変更、防災協力 認知症の非薬物療法について
会 議 録	
運営推進会議について	事業所が地域に開かれたものになるため運営推進会議を開き、事業所への理解を深めていただき、地域での問題等さまざまな事について会議する。
運営状況	<p>半年間が主に冬季での利用であったためご利用者が体調不良になり入院される方が多く長期にわたりお休みが続く。</p> <p>当事業所ではご利用者の体調の変化を看護師が把握し体調の変化がある時は、家族および担当ケアマネへ連絡する体制である。ただサービスを使っていない時などに体調を崩すことが多く見受けられる。</p> <p>感染予防対策として事業所では、冬季午前と午後に手が触れやすいトイレのドアノブを次亜塩素水で消毒しまた年間通してサービス終了後事業所内のフロア壁、テーブルなど接触する全ての部分の次亜塩素水による拭き掃除の実施している。</p> <p>事故および重大苦情なく、ほとんどがご利用者の持ち物返却忘れに関する問い合わせが殆どである。忘れ物は原則当日中に返却する。</p>
利用料変更	今年4月より介護職員への処遇をさらに改善するため介護職員処遇改善加算が5.9%へ変更。また介護福祉士の資格を持っている職員が多く勤務している場合にできるサービス提供体制強化加算を同じく算定。ご利用者にまた少し負担をお願いすることになる。

防災協力

当事業所エリアでは水害時 0.5m～3mの浸水恐れあり、非常災害時の安全確保と体制整備強化のため会議で地域との連携協力を願ひ出る。
民生委員より自主防災会への参加を提案していただき、今後、町、自主防災会との協力関係を持っていく。

認知症の非薬物療法について

看護師 吉田京子が認知症ケアについて説明。

心理学的なもの・認知訓練・運動等芸術的なものがあるが、その中で笑楽房で行なっている音楽療法より回想療法への導入として一例紹介

「隣組」歌詞プリントの挿絵より当時の生活様式・家族・近所との関わりなど徐々に広範囲への話を展開。認知症の方は記憶の引き出しを多く持っておられる。

ただ、引き出しを引き出せない状態になりつつある。そこに刺激をすることで次々と引き出しは開いてくる。その引き出しは昔なつかしい駄菓子でも開く。

回想療法として参加者になつかしい駄菓子を配布し、幼い頃を思い出す機会をもつていただき、お互い共感し合う場面がみられた。

その他笑楽房で行なっている認知症ケアについて訓練・運動を紹介し、参加者と共に行なう。

最後に、色々な訓練はあるがきちんと評価し、見直しが大切。思いつきの訓練、レクレーションは無意味であり、専門職の能力が問われる。これから更なる学びを深め予防・治療といわれる訓練等に努めていきたい。

参加者から要望・質問 特になし

次回運営推進会議の開催 平成 29 年 10 月開催予定

以上